

事業者によるCO<sub>2</sub>排出削減の取組に関する自主評価基準（例）

各事業者が適切にCO<sub>2</sub>排出削減に取り組んでいることを可視化するために、その取組状況を自主的にチェックし、その結果により「適マーク」を表示できるようにする。下記の取組を全て実施している事業者は自主的に「適マーク」を表示することができる。

	取組内容	取組の有無
①	CO <sub>2</sub> 排出削減の数値目標を記載した経営方針（環境自主行動計画）を策定・運用している。 例）・2015年までに電気使用量を20%削減する。 ・太陽光発電パネルを5基設置するなど、電気使用量の10%をグリーン電力とする。	
②	ネットワーク機器・データセンターについて、自社の調達基準を作成し、それに従った調達を行っている。	
③	事務機器、物品等について、グリーン購入など環境に配慮した購入を行っている。	
④	CO <sub>2</sub> 排出削減の取組について、担当部署・担当者を設置している。	
⑤	CO <sub>2</sub> 排出削減の数値目標を記載した経営方針（環境自主行動計画）など針環境負荷低減の取組について、社員への周知・啓発活動を行い、環境意識向上に努めている。	
⑥	用紙の両面使用など省資源対策を行っている。	
⑦	自社の環境負荷の低減の取組、データを一般に公開している。	
⑧	環境報告書（CSR 報告書、持続可能性報告書などを含む）を作成・公表している。	
⑨	環境目標の達成状況・実施状況について、目標作成部署とは別の部署による内部審査、又は第三者機関等からコメントを受けるなど信頼性向上に努めている。	
⑩	緑化活動やリサイクル活動など、地域と連携した活動を行っている。	